

教科別研修講座報告

C002 小・中国語科書写

「書くことが楽しくなる授業をめざして」

【平成30年7月27日（金） 基礎編】

講師 小浜市今富小学校 上野 裕未 教諭 越前市北新庄小学校 北畑 幸子 教諭
教育総合研究所 吉田 源美 所員

〈内容の詳細〉

1 通信型研修の振り返りと各学校の現状について（グループ協議）

・事前課題であった「誰でもできる毛筆指導」「誰でもできる硬筆指導」を視聴した上で、グループ協議を行いながら、各学校の実態等を比較

2 小学校低学年の水筆指導の実践事例とその具体的演習（模擬授業）

・昨年実施した小学校2年の研究授業「点のほうこう」を模擬授業により解説、体験
・水筆・水書用紙を使った具体的演習
・南越地区の協働作業による2年間の研究授業までの道のりの説明

3 書写指導の基礎・基本（講義・演習）

・これからの授業のあり方をDVD視聴により理解



〈受講者の声〉

・水筆（軟筆）というのは耳にはしていましたが学校にないものだったので、今回、使わせていただけて良かったです。教師が使用する水

書板は児童も使いたくてたまらない教具。ルールをしっかり押さえれば、児童の意欲の向上につながると思います。早速、水筆を使いたいと思いました。

・水筆を低学年から使用すると、毛筆への移行もすんなりいくと思いました。実際に扱ってみて、水筆のよさや鉛筆との違いも感じることができました。

・他校の実践を紹介していただき、大変良かったです。パワーポイントの使い方一つ、ワークシートや10Bの鉛筆、輪ゴム、おへそのシール、水筆などなど、教材・教具の工夫により、児童は意欲的に取り組めると思います。

・書写の授業に対する概念が大きく変わり、実際に授業をしてみたいと思いました。分かりやすく、そして、新鮮でした。

・分かりやすい丁寧な説明でした。楽しく教えていただいた演習（模擬授業）のおかげで、自分が体験でき、めあてから振り返りまでの授業の流れもよく分かったので、活用してみたいと思いました。



【平成 30 年 8 月 22 日（水） 実践編】

講師 千葉大学教授 樋口 咲子 氏

〈内容の詳細〉

1 学習指導要領改訂に向けた書写指導の在り方について（講義）

- ・学習指導要領改訂により変わった書写指導のポイントと文字の原理・原則について、実技とともに解説を実施
- ・「常用漢字の字体と字形に関する指針(報告)」の教師が知っておくべき点について解説

2 書字過程を意識した硬筆による書写授業（模擬授業）

- ・カーボン紙や水筆を使った実践練習
- ・硬筆指導のポイントについて

3 ICT を使った見せ方や動画作成・板書におけるコツ ～基本点画の練習を通して～（講義・演習）

- ・朱墨と薄墨を使った2色筆の活用と基本点画の練習
- ・実物投影機を使った、子どもへの手元見せ方演習

4 書字過程を意識したこれからの授業を考える（グループ協議）

- ・4単元の授業の流れを4グループに分かれ協議。それを発表し合い、それぞれについて講評を得る。



〈受講者の声〉

- ・点画のきまりや字形についてより理解が深まりました。ユーモアを交えつつ、分かりやすく、映像や体験(水筆など)を交えて具体的に教えて下さり、実践的だったので大変参考になりました。
- ・2色使いで穂先の筆の流れを視覚化させたり、水筆を用いて硬筆へ繋げたりするなど、様々な用具を積極的に使っていきたくと思いました。薄墨と朱墨の2色を使った取り組みは初めてでしたが、筆の流れがよく見えて画期的だと思いました。言葉で説明するのではなく、一目で分かる表現が大事だと感じました。
- ・映像の有効性や指導事項だけでなく、カーボン紙や水筆の教具を使って、「丁寧に書きたい」と思わせる指導の工夫についても活用できると感じました。また、水筆を使ってから硬筆に戻ると、余計な力が抜けて字が書きやすくなることを知りました。
- ・常用漢字の字体と字形に関する指導がとても参考になりました。書写の授業だけでなく、普段から意識していきたいです。
- ・授業づくりを考えるグループ協議やその後の発表を聞かせてもらったことは、とても参考になりました。具体的な授業の流れを学ぶことが出来て有り難かったです。

